

柳川とおき歴史の話—立花宗茂外伝—第1回



安田作兵衛

歌川豊国画「豊国画稿」より
一森蘭丸 安田作兵衛 (国立国会図書館蔵)

天正10(1582)年6月2日、叛臣・明智光秀が主君の織田信長を京都・本能寺で襲ったとき、信長は自ら矢を射て、次には鎧を用いて、寄せ手の明智勢に応戦した、と太田牛一の『信長公記』は語っています。

このおり、信長の前に現れたとされるのが、安田作兵衛。作兵衛と思しき人物が、信長の肘を一突きし、「もはやこれまで」と観念した信長は、自害を決意したと、同書には記されています。

ところが、『真書太閤記』には、信長と鎧を合わせた作兵衛の前に、小姓の森蘭丸が立ちはだかり、作兵衛は両太股から下半身を刺されたことになっていました。

本能寺で信長を鎧で突いた男 安田作兵衛

作兵衛は重傷を負いながらも、奮闘。蘭丸の鎧の柄にしがみつき、今度は太刀を抜いて蘭丸の脛をなぎはらいます。

自ら信長に鎧傷をあてた作兵衛でしたが、ついに力尽き、並河金右衛門に信長の首を横取りされた、ということになっていました。

もちろん史実では、信長の首は誰にもあげられていません。

さらに『絵本太閤記』では、数名の者と本能寺の先陣を争い、首尾よく寺の中に忍び込んだ作兵衛が、信長の寝所を障子越しに鎧で突いたところ、信長は脇腹を刺され、そこへ蘭丸が駆けつけた、との設定になっていました。ここでは、作兵衛が蘭丸に鎧で、顔をブスリと突かれてしまいました。

このように、文献によって異なる記述がなされた作兵衛ですが、その後、傷口に悪性の腫物ができ、まもなく死んでしまった、と共通して書かれていました。

ところが、関ヶ原のあと柳河の城主となった田中吉政の使番・川角三郎右衛門の著書『川角太閤記』を読んでいると、作兵衛は山崎の

合戦で光秀が羽柴(のち豊臣)秀吉に討たれた後、秀吉が行った明智の残党狩りを逃れ、13年間も潜伏していた、とあるのです。

しかも、この著述では、光秀が謀反を決意し、『天野源右衛門』を呼ぶと、

「お前は先駆けて急ぎ、味方の中から本能寺へ、注進に出かける裏切り者をつきつけ次第、打ち捨てるべし」と命じています。

ところが、この天野は他の書物によると、本能寺の変のち、作兵衛が世をあざむくために名乗った偽名だ、とあるのです。

つまり、本能寺の変の以前に「天野源右衛門」という人物は、この世には存在していなかったことになりそうです。

それにしても立花宗茂は、どうしてこのような人物を家臣としたのでしょうか。(つづく)

■文II 加来耕三
※この物語は、史実を基(根底)に作成されています。

柳川とおき歴史の話を連載開始

今回から新シリーズ「柳川とおき歴史の話-立花宗茂外伝-」を毎月1日号の広報紙に掲載します。立花宗茂・蘭千代を取り上げたRKBラジオ番組「加来耕三が柳川で大河ドラマをつくってみた」でおなじみの、加来耕三さんが執筆。柳川観光大使で歴史家の加来さんが、宗茂や柳川にまつわる人物の、とおきのエピソードを分かりやすく紹介していきます。

【問】市観光課観光推進係 (☎ 77・8563)



歴史家・作家 加来耕三さん

紙はごみじゃない。分別すると貴重な資源に



シリーズ「ごみ減量をいかにして成功させるか」⑩

可燃ごみの約半分を占める紙類。紙類には新聞紙、牛乳パック、雑誌、段ボール、雑紙があり、分別された後はトイレトペーパーなどの身近なものに生まれ変わります。それぞれの種類ごとにビニールひもなどで縛って収集日に出してください。

【問】市廃棄物対策課 (☎ 72・1334)

9月の休日受付日は4日(土)と19日(日)。午前9時～午後0時15分、午後1時～4時に可燃ごみを受け入れます。
※ごみの収集は祝日も行います。

雑紙の分別をしていますか

雑紙とは、新聞紙や雑誌などの分類に当てはまらない紙類です。雑紙にはサイズが小さいものもあるため、つつい燃やすしかないごみ袋の空いたスペースに入れてしまいそうになりますが、雑紙はごみではなく貴重な資源です。分別することで新たな資源として日々の生活に循環していきます。集まった雑紙は紙袋に入れて紙類の収集日に出してください。

リサイクルできる雑紙

紙袋、包装紙

紙箱

封筒、はがき

カレンダー

雑誌、カタログ

コピー用紙

※その他=ポスター、厚紙、紙ファイル(プラスチック部分は取り除いて可燃ごみへ)、ラップの芯など

ごみ分別の取り組みが拡大中

中島小学校では、職員室と教室に、それぞれ3つのごみ箱を設置し、分別に取り組んでいます。



家庭では、このように紙類専用の箱を用意する必要はありません。家にある紙袋をキッチンやリビングのごみ箱の横に置いたり、紙袋のひもをいすにかけたりして、その中に雑紙を入れるだけで簡単に分別できます。ぜひ取り組んでみてください。



ごみ分別アプリでは、ごみ分別の取り組みを紹介しています。アプリをダウンロードしてみてください。



ごみ分別アプリ

市内の可燃ごみの量



よくあるお問い合わせ

Q 雨の日に新聞紙、段ボール、雑紙などの紙類を出しても回収されますか?

A 雨の日でも回収します。ただし、ぬれてしまうと資源化できない場合があるので、紙類を出すときはぬれないように、ビニールなどで覆ってから出してください。難しいときは、次回の収集日に出してください。